

第17回

# ひろしま「山の日」県民の集いの記録

山と海は、  
つながっている。

2018年6月3日(日) 開催  
ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社/中国放送



はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命をはぐくんでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域・・・ 江田島市をメイン会場に広島県内 15 の市町 16 会場を結んで、第 17 回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

●第 17 回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ 7 割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育んでいます。

私たちは、6 月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし  
ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し  
山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、  
山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2018 年 6 月 3 日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

会長 伊藤利彦

## 目 次

|   |                               |    |
|---|-------------------------------|----|
| 1 | 事業のアウトライン .....               | 3  |
| 2 | 各会場の記録                        |    |
| ① | 江田島市会場:国立江田島青少年交流の家.....      | 4  |
| ② | 東広島市会場:東広島市憩いの森公園.....        | 11 |
| ③ | 廿日市市会場:県立もみのき森林公園 .....       | 16 |
| ④ | 広島市会場:ひろしま遊学の森(広島市森林公園) ..... | 18 |
| ⑤ | 広島市会場:広島県緑化センター.....          | 22 |
| ⑥ | 三原市会場:県立中央森林公園 .....          | 26 |
| ⑦ | 庄原市会場:国営備北丘陵公園 .....          | 27 |
| ⑧ | 福山市会場:ふくやまふれ愛ランド.....         | 29 |
| ⑨ | 三次市会場:酒屋いこいの森 .....           | 30 |
| ⑩ | 呉市会場:野呂山(野呂高原ロッジ周辺) .....     | 32 |
| ⑪ | 北広島町八幡高原会場:高原の自然館 .....       | 33 |
| ⑫ | 安芸高田市会場:鷹巣山(向原町) .....        | 34 |
| ⑬ | 安芸太田町会場:深入山グリーンシャワー.....      | 35 |
| ⑭ | 大竹市会場:マロンの里交流館 .....          | 36 |
| ⑮ | 世羅町会場:せら夢公園.....              | 39 |
| ⑯ | 大崎上島町会場:神峰山.....              | 41 |
| 3 | 実行委員 .....                    | 42 |
| 4 | ひろしま「山の日」県民の集いの歩み .....       | 44 |

# 1. 事業のアウトライン

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 目的   | 森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 17 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になった。将来、広島県内全 23 市町で展開できるように広島県など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする                                                                                                |
| 2 日時   | 2018 年 6 月 3 日(日) 集いの行事<br>※庄原市会場は 6/17 に実施                                                                                                                                                                                                                                        |
| 3 場所   | 広島県内 15 市町 16 会場<br>江田島市会場(国立江田島青少年交流の家)<br>東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場(広島市森林公園、広島県緑化センター)、三原市会場(県立中央森林公園)、庄原市会場(備北丘陵公園)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、三次市会場(酒屋いこいの森)、呉市会場(野呂山)、北広島町八幡高原会場(高原の自然館)、安芸高田市会場(鷹巣山)、安芸太田町会場(深入山グリーンシャワー)、大竹市会場(マロンの里交流館)、世羅町会場(せら夢公園)、大崎上島町会場(神峰山) |
| 4 総参加者 | 11, 718人 (山の手入れ等参加者1, 003人)                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 5 主催   | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 6 特別協力 | ひろしまの森林づくりフォーラム                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 7 後援   | 林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、江田島市、広島市、呉市、三原市、国土交通省三次河川国道事務所、備北公園管理センター、福山市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、世羅町、大崎上島町、(公社)国土緑化推進機構、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島                                       |
| 8 協賛   | 西条・山と水の環境機構、(株)有斐園、(株)ウッドワン、山陽乳業(株)、JA グループ広島、(株)タカキベーカー、大和重工(株)、中国木材(株)、(株)中電工、マツダ(株)、広島県信用組合、広島信用金庫、広島県森林組合連合会、広島県協同組合連絡協議会、(株)エディオン、尾道商工会議所、神沢精工(株)、クニヒロ(株)、光和物産(株)、山陽工業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、福山商工会議所                                             |
| 9 助成   | ひろしまの森づくり事業(交付金事業)<br>「緑の募金」助成事業<br>セブン-イレブン記念財団 2018 年度活動助成                                                                                                                                                                                                                       |



## 2. 各会場の記録 ①江田島市会場 国立江田島青少年交流の家

全体

■参加人数：1,650人

＜プログラムの状況＞

第17回ひろしま「山の日」県民の集いが江田島市をメイン会場にして県内各地で開催されました。

メイン会場である江田島市会場では、設立50周年を迎えた 国立江田島青少年交流の家において開催され、天候にも恵まれ大変多くの来場者で賑わいました。

会場には、木工教室やしいたけ菌打ち体験、江田島市特産品の販売等のブースが多数出店され多くの来場者の方々が楽しめました。中でも、「有害鳥獣射的ゲーム」と「山の恵み・命をいただく」（イノシシ肉のソーセージ及びカレーの無料配布）コーナーには長蛇の列ができており、とても賑わっていました。また、「山と海はつながっている！海の生き物不思議発見」では、生き物に直接触れることができ、間近で観察できることで、子どもたちには大人気のコーナーでした。



▲メイン会場の様子

開会式（オープニングセレモニー）

■参加人数：200人

＜プログラムの状況＞

衆議院議員の平口 洋氏をはじめ多くの来賓の方々にご臨席賜り、約200人の参加のもと開会式が行われました。1978年6月、クマン岳、古鷹山を中心に、947haの山林が2昼夜44時間余り焼失した林野火災から40年の節目を迎えたこの年に、ひろしま「山の日」県民の集い in 江田島が開催できたことは、大変意義深いことであり、山の大切さを再確認できた開会式となりました。



▲伊藤富美雄実行委員長 開会宣言



▲ひろしま「山の日」実行委員会 伊藤利彦会長 挨拶



▲開会式後に全員で記念撮影

## 記念植樹

### ＜プログラムの状況＞

来賓の方々及び関係者によるオリーブの苗木を植樹しました。



▲記念植樹

### ■参加人数：多数

### ＜プログラムの状況＞

江田島市が平成30年度にひろしまの森づくり事業を活用し、樹木粉碎機を購入する予定であるため、購入予定の機械を用いて、来場者に対してPRを行いました。



▲樹木粉碎機のデモンストレーション



▲樹木粉碎機で竹をチップ化にしている様子

## 防火意識向上のための パネル展示・消火体験

### ■参加人数：多数

### ＜プログラムの状況＞

1978年に江田島市で発生した林野火災は、広島県史上、最も大きな林野火災と言われ、古鷹山やクマン岳を中心に甚大な被害をもたらしました。その林野火災から、今年でちょうど40年目を迎え、現在では、緑豊かな山に再生されています。この時の林野火災を知る人も知らない人も、パネルを通じて当時の状況を振り返り、防火に対する意識が再度向上しました。



▲林野火災当時の状況を聞く来場者

## ガイドと行く 「古鷹山」トレッキング

### ■参加人数：54人

### ＜プログラムの状況＞

奥小路から古鷹山山頂経由、オタカ広場までのガイドツアーを実施しました。対象者はトレッキング経験者で、江田島町の古鷹山を存分に楽しんでもらいました。



▲古鷹山登山の様子



## 山の恵み・命をいただく ー有害鳥獣の今ー

■参加人数：500人

### ＜プログラムの状況＞

イノシシ肉のソーセージを500食、イノシシ肉のカレーを300食と用意し、来場者へ無料配布しました。普段はイノシシによる農作物被害に頭を悩まされていますが、この日はイノシシ肉の味を堪能し、イノシシ肉が美味しく食べられる事を皆さんに知っていただきました。



▲イノシシのソーセージを求めて長蛇の列

## 地元特産品の販売等

■参加人数：多数

### ＜プログラムの状況＞

江田島市の特産品の販売等、各種ブースを設置し、会場内を盛り上げました。江田島市産の野菜や花卉などの販売に加え、疲れた身体を癒すために、マッサージなどの施術も行われました。



▲江田島市の特産品等の販売の様子

## クマン岳ー古鷹山 ファミリーウォーク

■参加人数：26人

### ＜プログラムの状況＞

幸ノ浦峠からオタカ広場までをハーフコース、幸ノ浦峠からオタカ広場を經由し、小用港までをフルコースとして、2つのコースでウォーキングを実施しました。参加者全員が無事にゴールでき、良い汗をたくさんかきました。



▲ウォーキングを楽しんでいる参加者の様子

## 有害鳥獣射的ゲーム

■参加人数：200人

### ＜プログラムの状況＞

子ども向けにお菓子を景品とした射的ゲームを実施し、有害鳥獣の捕獲について興味を持ってもらう良い機会となりました。



▲射的ゲームに夢中の子どもたち



## 江田島市「2万食プロジェクト」に基づく健康促進コーナー

■参加人数：200人

### ＜プログラムの状況＞

江田島市「2万食プロジェクト」で作成された地元の食品による健康食レシピや、広島県立大学と提携し作成した黒鯛を使ったレシピ等を配布し、健康促進を行いました。



▲健康促進コーナーの様子

## 江田島6峰フォトラリー スタートイベント

■参加人数：3名

### ＜プログラムの状況＞

江田島6峰フォトラリーのスターティングイベントとして、真道山と砲台山を巡回し、ボランティアガイドが説明を行いました。なお、江田島6峰フォトラリーは、10月31日まで実施され、対象期間中に6峰を制覇すればピンバッジとパンダナが景品として贈呈されますので、江田島市へぜひお越しください。



▲江田島6峰フォトラリーの様子

## 竹とんぼ等の遊び講座

■参加人数：100人

### ＜プログラムの状況＞

竹を使って竹とんぼ、ペン立て、鶯笛を作成する講座を実施しました。親子で楽しく作成し、出来上がった作品で早速楽しく遊んでいました。



▲竹とんぼの作り方を説明

## 山と海はつながっている！ 海の生き物不思議発見

■参加人数：多数の

### ＜プログラムの状況＞

出前博物館として、江田島市周辺で見られる特徴的な海洋生物について、写真パネルや標本、実物などを展示し、江田島市の海辺の自然について紹介しました。また、海の生き物をデザインにとりこみ、科学的な原理や構造を利用した「科学おもちゃ」や「オブジェ」をつくり、自然科学に対する興味関心を高めることができました。



▲海の生き物に直接触れて、喜ぶ子どもたち

## 体験しよう江田島の山 水晶山プチ岩登り

■参加人数：23名

### <プログラムの状況>

広島県山岳・スポーツクライミング連盟の皆さんによるご協力を得て、メイン会場の国立江田島青少年交流の家のすぐ傍に位置する、水晶山のプチ岩登りを行いました。小学4年生から中学生（小学3年生以下は保護者同伴）を対象として、標高90mの水晶山の岩場を、時にはロープを支えにして、登るコースを確認しながら登っていきました。午前、午後と分かれて参加者を募集し、午前中は大勢の子どもたちとにぎやかに岩登りを楽しむことが出来ました。午後は少ない人数での参加となりましたが、親子連れで登る参加者が多く、親が苦戦するような箇所を、子どもたちが元気に上っていく場面もありました。天気もよく、山頂では江田島市を見渡せるすばらしい展望を眺めることもでき、参加者の方楽しんでいただけました。



▲会場近くの水晶山でプチクライミング



▲山頂より江田島市を一望

## 木 工

■参加人数：30名

### <プログラムの状況>

10時、13時と2回に分けて親子で本立てを作成しました。講師の指導を受けながら、参加者全員が上手に本立てを仕上げる事ができました。



▲本立てを作るファミリー

## 植 樹

■参加人数：15名

### <プログラムの状況>

植樹の参加を希望した3組の親子が広島県森林組合連合会の職員から指導を受けながら、ソメイヨシノの苗木を植えました。子ども達が成長するにつれてソメイヨシノも大きく育つよう願っています。



▲広島県森林組合連合会の職員から指導受ける家族たち



## しいたけ菌打ち体験り

■参加人数：50名

### ＜プログラムの状況＞

子ども達を中心に親子でしいたけの菌打ちを体験してもらいました。参加者自らが木槌も作り、まさに全てが手作りで楽しくできました。



▲しいたけ菌打ち体験を楽しむファミリー

## オリエンテーリング

■参加人数：33名（11組）

### ＜プログラムの状況＞

国立江田島青少年交流の家周辺のマップに記された10個のポストを自然と触れ合いながら、探し歩くオリエンテーリングに小学生を中心とした家族連れなど11組のグループが参加しました。暑い日差しを避けて、林の中を抜け野山を駆け回り子どもたちは大人を急かしながら、一方大人は昔を懐かしみながら、約1時間のプログラムを楽しんでいました。



▲オリエンテーリングを楽しむファミリー

## 熱気球の係留飛行

■参加人数：200名

### ＜プログラムの状況＞

会場に係留した熱気球の観覧・搭乗体験を実施しました。用意していた整理券は、30分程度で全て無くなり、今回のイベントの目玉にもなりました。また、メイン会場と同じ敷地内で実施したため、どこからでも熱気球の様子が確認でき、その大きさと迫りに皆さんが驚いていました。



▲熱気球から会場全体を見下ろしています。

## 子ども体験遊びリンピック

■参加人数：248名

### ＜プログラムの状況＞

「子ども体験遊びリンピック」では、ボールをゴミ箱に投げ入れてその数を競う「目指せ！ゴミ捨てマスター！」と目をつぶって片足立ちした時間を競う「閉眼片足立ち競争」の2種目を行いました。上位者にはメダルがもらえるので、より高い記録を出そうと繰り返し挑戦する子供たちもいて、ブースはたくさんの参加者でにぎわいました。



▲子どもたちで盛り上がる、子ども体験遊びリンピック

## 森林整備講習

■参加人数：20名

＜プログラムの状況＞

大人の方を対象に広島県森林組合連合会の職員が講師として、メイン会場の敷地内の樹木を使用し、チェーンソーの使い方や木の切り方の講習を実施しました。チェーンソーを初めて見る方もいて、木が倒れた際には「ワー」という大きな声が広がっていました。



▲チェーンソーの使い方講習



▲倒木後の処理の講習

## 閉会式

■参加人数：100名

＜プログラムの状況＞

閉会式では、ひろしま山の日県民の集い実行委員会アドバイザーであり、広島大学名誉教授の中越信和氏に講評をいただきました。講評後、次回開催地の竹原市へ山の日フラグの引継ぎが行われました。最後は、来場者の方への感謝の気持ちを込め、餅まきが行われ、盛況のうち終わることができました。



▲広島大学名誉教授の中越信和氏の講評



▲18回メイン会場開催地 竹原市へ山の日フラグの引継ぎ



▲来場者へ感謝の気持ちを込めて、餅まき

記録者：久保 俊介

(江田島市産業部農林水産課)



## ②東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：380人

### ＜プログラム状況＞

東広島会場は、第1回メイン会場として開催して以来連続17回目の開催となりました。会場は憩いの森公園多目的広場をベースに、龍王山一帯で様々なアクティビティが実施されました。メインプログラムは「山のグラウンドワーク」で、通算85回目となります。市内の企業や団体、行政関係者140人が参加。「花咲く森育林地」を中心に、雑木の伐採、下草刈り、チップ化などに汗を流しました。

また、初参加の「東広島山の会」の指導による「初心者のための登山教室」をはじめ、森のネイチャーゲームや野鳥観察も行われ、市民や東広島みどりの少年団の子供たちが参加して楽しみました。多目的広場では、丸太切り競争や木工教室、ハーブ石けんづくりなどが行われたほか、龍王山を水源として西条市街を流れる半尾川の水生物展示やペレットストーブの実演展示にも多くの人が訪れました。県立西条農業高校は、山の手入れへの参加はもとより、学校活動の展示、さらに会場の設営や撤去にも全面的に協力されました。好天に恵まれ、山へのかかわりを強くする集いとなりました。

記録者：薦田 直紀（実行委員会 事務局長）



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲来賓・実行委員の紹介

来賓：谷 英彦 広島県城島農林事業所 所長

木原 岳浩 東広島市産業部 部長



▲来賓挨拶



▲東広島みどりの少年団と西条農高による山の日宣言



▲松浦作業指導者から装備チェック



▲船本さんをリーダーに安全祈願



## 山のグラウンドワーク

■参加人数：140人

### <プログラム状況>

雨入り直前の気持ちよく晴れた青空の下、140人で作業を行うことができました。

今回は、ヒノキ植林と落葉樹が混生する「花咲く森育林地」を対象として、高木林の育成を目的とした低木の除伐、下草刈り、もやかきを行いました。草木は作業道に近い班が搬出し、チップパーシュレッダーにかけてチップ加工しました。また、JR西日本西条駅班は、少し離れた「桜の広場」の東側斜面を担当し、刈払機を使って広面積での刈払い作業を行いました。

■オリエンテーション:「花咲く森育林地」に到着後、作業指導者の松浦さん（賀茂地方森林組合）から、作業範囲、各班の配置、安全な除伐作業と伐採した材の棚積み、搬出とチップ化について説明を受けました。低木はできるだけ地面に近い場所で水平に（先端が鋭利にならないように）伐り、つまずきや踏み抜きの危険を無くすよう説明を受けました。また、危険な生物としてヤマウルシ、スズメバチ、マムシに関する注意を受けました。

■伐採作業:各班長指導のもと、作業を開始。以前の伐採木から萌芽した枝や常緑低木の刈り取りをメインとし、倒木やツルの除去、落枝の除去も行いました。作業道に近い第1、2、3班を中心に刈草を搬出し、できる限りチップ化しました。その他の班はその場に棚積みしました。

記録者：薦田 直紀（実行委員会 事務局長）



▲低木や萌芽枝を中心に刈り取りを行う



▲刈草をチップパーシュレッダーでチップ化



▲常緑低木の刈り取り



▲JR 西日本西条駅班は、「桜の広場」東斜面で刈り払い機を使って広域に作業



▲憩いの森での再会を約束し、笑顔いっぱいの記念写真

## 初心者のための登山教室

■参加人数：26人

### <プログラム状況>

多目的広場のスタンド付近に移動し東広島山の会の木梨会長から龍王山へ登るコースの説明及び登山で基本的に守ること等の説明がありました。池田さんが準備体操の指導をして早速登山開始です。3班に班分けし、10時5分にもみじ谷コースから山頂を目指します。山登りは初めての人が多く、ゆっくり登ることにしました。天気が良く光り輝く木々の中を進んで行きます。15分程歩いた所で暑くなり制服を脱ぎ衣服の調整をしました。登っている時、山道で出会った人には「こんにちは！」と挨拶し道の避け方などを説明しました。標高500mの手前で公園外の山道を歩きました。10時55分に山頂到着、子供たちは歓声をあげて喜びました。山頂からの眺めは最高です。西条の街並みをよく見ることができました。広場に集合し点呼を取り、久保さんから登山で一番大切なことは「自分の身を守る」の説明がありました。11時15分には下山開始、下りるのはハナミズキの森、途中「西条龍王の名水」でひと休み、シンボル庭園を通り多目的広場に12時10分に全員元気に到着しました。子供達のとても楽しかったという声に安堵しました。

記録者：渡邊大輔（東広島山の会）



▲龍王山「山頂展望台」にて

## 森のネイチャーゲーム

■参加人数：18人

### <プログラム状況>

みどりの少年団の4年生とネイチャーゲームを行いました。活動は「フィールドビンゴ」と「動物ヒントリレー」「わらしべ長者」の3つです。

「フィールドビンゴ」では、花にとまっている蝶、猪の掘り起こした跡など9つのお題を探しました。

「動物ヒントリレー」ではチームに分かれ、隠されている動物を当てます。よい勝負になりましたが、ヒントをしっかりと記録し落ち着いて相談していたチームが最初に正解にたどり着きました。途中、道なき斜面を歩いたり、芝の斜面を転がったりして、エネルギーを発散しました。広場からは「わらしべ長者」をしながら戻りました。昼休憩中に、テーブルマジックならぬテーブルネイチャーゲームを行いました。

記録者：浅野敏久

写真撮影：佐々木 桂一（実行委員会事務局）



▲ネイチャーゲームの様子

## 森の野鳥を探そう！ (野鳥観察会)

■参加人数：37人

### <プログラム状況>

午前のみどりの少年団、午後是一般参加者と散策路を歩き観察会を実施した。出発前に前日の下見で確認出来た野鳥の写真を提示しながらレクチャーし、



鳴き声にも耳を傾けるよう呼びかけた。枝から枝へ飛び交う鳥を見つけると、「見えた！」と感激の様子で双眼鏡を覗いていた。幹にかけられたコゲラの巣穴も双眼鏡で観察してもらった。じっくり姿を見ることは出来なかったが、オオルリとキビタキの声は特に美しく、皆立ち止まり耳を澄まして聴いていた。鳴き声のみの鳥を含め、午前午後を通してウグイス、オオルリ、キビタキ、ホトギス、メジロ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ホオジロ、ハシブトガラス、ハシボソガラスの 14 種を確認することが出来た。今年は会場のBGMがなかったので、鳥の声をよく聴くことが出来て良かった。

記録者：田中 由美子

(東広島の野鳥と自然に親しむ会)



▲オオルリ

## 丸太切り体験 森の木工体験

■参加人数：80人

<プログラム状況>

爽やかな晴天に恵まれ、「丸太切り競争」「森の木工教室」を担当しました。悪戦苦闘しながらも懸命に丸太を切ったり、釘や金槌を使って本立てや巣箱づくりなど、

チャレンジ精神旺盛に頑張り、気持ちの良い汗をかかれたと思います。山の日を通じて里地・里山作りに関心を持っていただければと思います。できました。気持ちの良い汗をかいての除伐作業、日常あまり使うことのない鋸を使つての丸太切り、釘や金槌を使つての巣箱づくりなど、貴重な体験ができたことと思います。里地・里山作りを将来に渡って継承する事、自然環境保全作りに関心を持って頂ければと思います。

記録者：松浦 尚樹(賀茂地方森林組合)



▲丸太切りに挑戦する女の子

## ハーブ石けんづくりと ハーブティサービス

■参加人数：63人

<プログラム状況>

今年の私たちのテントはスタッフが少人数なので、ハーブティーはセルフサービスとしました。例年好評のからすのえんどうとマロウ、ルイボ스티ーの3種類です。マロウは自宅でも楽しんで頂けるようドライハーブの小袋を準備しました。からすのえんどうも希望者には茶葉をお分けしました。

ハーブ石けんづくりは、今年は少人数のグループに分かれての参加です。お陰で、個性溢れる子供達とゆっくり向き合えた気がします。

手でこねていく時間に従って気持ちがほぐれて行くのを実感し、集中して手を動かすことの良さを改めて感じました。無事一日が終えて感謝でした。お隣のペレットストーブさん、お湯の提供ありがとうございました。雲一つない青空の下、会場へ向う人達の顔も輝いて見えた今年の山の日、私達のブースは例年通り”手ごね”せっけんづくりです。

参加した緑の少年団の子供達も晴れやかな気持ちで精を出していました。

記録者：高見 京（憩いの森ハーブ研究会）



▲ハーブ石けんづくりの様子

## ペレットストーブの実演展示

■参加人数：多数

<プログラム状況>

今回は、ヤマノイ(株)さんと協力し、広島市でペレットストーブを製造・販売している日鋼設計(株)製のペレットストーブ2台を実演展示しました。会場では、東広島みどりの少年団の子供たちや一般の方々に「カーボンニュートラルで地球にやさしいペレットストーブの良さ」を知っていただきました。

また、燃料の木質ペレットについては、賀茂地方森林組合さんに提供していただき、ペレットのPRを行うと同時に、今年から増額された東広島市の「薪・ペレットストーブの補助金」をより広く知ってもらうようPRしました。このプログラムを機会に、木質バイオマス燃料を使用した暖房機器の利用者が増えることを期待しております。

記録者：荒神 辰之/四宮 哲夫（日鋼設計株式会社）

幾田奉文(日興苑遊歩会 副会長)



▲ペレットストーブ展示

## 半尾川の生き物展示

■参加人数：142人

<プログラム状況>

昨年に引き続き、龍王山を水源とする半尾川にすむ生き物の展示を行いました。今回は JR 線より少し上流から黒瀬川合流点までの区間で生息が確認されている生き物 11 種(カメ 1 種、カエル 2 種、魚類 2 種、甲殻類 2 種、水生昆虫 2 種、貝類 2 種)を飼育ケースに入れ、解説とともに展示しました。グランドワークに参加した子供たち、親子連れ、地元にお住まいの方など、たくさんの方にブースに来ていただきました。

記録者：中坪 孝之

(広島大学大学院生物圏科学研究科)



▲半尾川にすむ生き物について説明している様子

## 西条農業高校の展示

■参加人数：多数

<プログラム状況>

広島県立西条農業高校緑地土木科の紹介展示



▲西条農業高校緑地土木科の活動紹介



### ③廿日市市会場 県立もみのき森林公園

全体

■参加人数：2,300人

#### ＜プログラム状況＞

素晴らしい青空の下、「第17回ひろしま「山の日」県民の集い in はつかいち」が参加者2,300名で開催しました。（公園利用者含む）

“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、JRふれあいウォーク、森のネイチャーゲーム、親子でピザを楽しむ会、魚のつかみどり、森の竹細工教室、森のつみ木広場、薪割体験、ポニーと遊ぼう等9種のプログラムなどで盛りだくさんの内容でした。

10時に開催された、開会式では、谷村実行委員長の開会挨拶に続き、メインイベントの「山の日」宣言は、広島修道大学生の環境ボランティアを代表して堀佑丞さん山本詩織さんの2名が力強く宣誓した。締めくくりは阿品の森サポータークラブの武田佳子さんが作業時の注意点などを発し、安全祈願の「どんぐり！ころころ！」を力強く三唱して式典を終了しました。



▲広島修道大学の学生による「山の日宣言」

“安全な森を作ろう！”を合言葉の森の手入れは、広島修道大学の環境ボランティア（153人）及び指導者含めて総勢170名が、オートキャンプ場のテントサイト周辺の森の中、班分けしてある森の中へ移動し森の手入れを実施しました。また、服装チェックで危険と判断した半袖で参加した人は、丸太切りや、土のう作り体験などを行いました。

今回、公園内で「新緑のマラソン大会」開催したこともありイベントブースは2会場で開催し好評を得ました。

この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

|                          |     |      |
|--------------------------|-----|------|
| ○ 森の手入れ                  | 参加者 | 170人 |
| ○ 新緑のもみのき森林公園            | 参加者 | 12人  |
| ○ 森のつみ木広場                | 参加者 | 51人  |
| ○ 森のネイチャーゲーム             | 参加者 | 40人  |
| ○ クラフトづくりコーナー            | 参加者 | 16人  |
| ○ 親子でピザを楽しむ会             | 参加者 | 13人  |
| ○ 魚のつかみどり                | 参加者 | 128人 |
| ○ ポニーと遊ぼう                | 参加者 | 52人  |
| ○ 薪割体験                   | 参加者 | 多数   |
| ○ 土のう作り体験                | 参加者 | 12人  |
| 番外編 新緑のマラソン大会            | 参加者 | 275人 |
| 記録者：梅田 斉（一般財団法人もみのき森林公園） |     |      |

#### 安全な森をつくろう！



▲森の手入れ 木をしっかり持ってね！



## 木はどうなるの～薪割体験

■参加人数：多数



## 森のネイチャーゲーム

■参加人数：40人



## 親子でピザを楽しむ会

■参加人数：13人



## ポニーと遊ぼう

■参加人数：52人



## 新緑のもみのき森林公園

■参加人数：12人



## 土のう作り体験

■参加人数：12人





## ④広島市会場 ひろしま遊学の森（広島市森林公園）

全体

■参加人数：1，208人

### ＜プログラム状況＞

当日は、梅雨前の晴天に恵まれ、森林でのイベントに最適の天気でした。

9時半に林業体験広場体験棟前において、ひろしま遊学の森（広島市森林公園）副島靖夫園長の開会宣言と「もりメイト倶楽部 Hiroshima」の見勢井誠顧問によるひろしま「山の日」宣言を行い、1日の盛況と無事故を祈って開始しました。

イベントは、広島市シェアリングネイチャーの会のトレーナーによる「森のネイチャーゲーム」、公園主催の「スタンプラリー」、当森林公園の管理ボランティア「フォレストクラブ森守」にお世話頂いて、森林内を歩く「グリーンアドベンチャー」、呉娑々宇山への遊歩道の整備を行う「トレイル&クリーン作戦」を実施しました。

「ネイチャーゲーム」は、芝生広場の日陰を使っているいろんなゲームをして頂きましたが、「食物連鎖ジャンケン」はジャンケンで勝ち進むことによって自然界の食物連鎖を考えるきっかけに頂きました。「名付け親の旅」はマーキングした木や草花を観察して新しい独自の名前を付けて、すべての木や草花には個体差があって何一つ同じ形がないことを学んで頂きました。

「スタンプラリー」は芝生広場周辺のポイントを探してスタンプを押して景品のプレゼントをゲットされていました。

「グリーンアドベンチャー」では、延長2,150m、標高差150m、変化に富む園内のコース内にある18問を専用の回答用紙を持って歩いて頂きました。参加者には、当公園オリジナルの記念品、さらに成績優秀者（ただし子ども限定）には、別の景品をプレゼントしました。

また、「山の日」に相応しく「トレイル&クリーン作戦」を実施しました。初めてノコギリを持ったような子どもさんからベテランの高齢者までの参加者が遊歩道の支障木を一所懸命切って森林の手入れをしていただきました。そして、スタッフの尽力と参加者の協力を得てすべてのイベントが滞りなく進み15時半のイベント終了まで、広島市森林公園での1日

を楽しく有意義に過ごして頂きました。



▲ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 副島靖夫園長の挨拶



▲「もりメイト倶楽部 Hiroshima」見勢井 誠顧問による  
ひろしま「山の日」宣言



▲参加者のみなさん

記録者：桑田 莊一郎(広島市森林公園)

## グリーンアドベンチャー

■参加人数：96人

### ＜プログラム状況＞

本コースは「管理ボランティア フォレストクラブ 森守」の皆様が中心となって8年前に整備されたもので、森林公園内をクイズラリー方式でトレッキングできる常設コースです。

延長2,150m、標高差150m、雑木林、人工林、モミジ植栽林、溪流園路、つり橋など変化に富む園内のコースに問題を18問設置しており、回答用紙を兼ねた探検地図も ver.8 を重ねるほどの当公園の人気定番イベントのひとつでもあります。

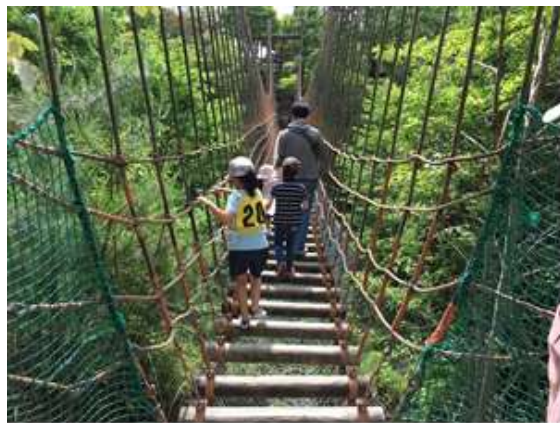
この日は梅雨入り前の心地よい青空の下で、24組87人が参加されました。参加者には、当公園オリジナルの記念品（押し花入りのしおり、ドングリのフォトスタンド、竹のかぐや姫）を、さらに成績優秀者（ただし子ども限定）には、昆虫の絵柄缶バッジ、竹とんぼ、ぶんぶんごま（竹製）などをプレゼントしています。



▲ゼッケン係はお父さん〜♪ つぎの問題をさがして、家族みんなで森の中を散策中！



▲GAV 問題 13 可部の街や太田川〜 中国山地を見渡し  
ながら、広島市森林公園の新記録？に挑戦！



▲「ゆらさないで〜！」 GAV 問題 16 は、スリル満点の  
つり橋を渡って ? 橋の高さと長さを体感します。



▲ゴール直前、GAV 問題 18 のヒントは？

＊ 広島市森林公園はとっても広いです。

記録者：牟田口 努（広島市森林公園）

## スタンプラリー

■参加人数：283人

### ＜プログラム状況＞

芝生広場周辺でスタンプラリーを実施しました。コースは1周20分〜30分程で第2駐車場階段下を受付、ゴールとして、芝生広場、休憩所、こんちゅう館前、メルヘンの森に8か所の目印を設置し、その周辺に隠したスタンプを探して押しいただきました。簡単に見つけられるものから難しいものまで、広い園内を探索しながら楽しくスタンプラリーをしていただき、全部押した方には景品として用意したおもちゃ、お菓子、飲料の中から好きなものを1つ選んでいただきました。天気も良く78組280人の方に参加して頂きました。





▲頑張ってスタンプを探しました。



▲皆さん嬉しそうに景品を選んでいました。

記録者：古本 隼都（広島市森林公園）

## 森のネイチャーゲーム

■参加人数：54人

＜プログラム状況＞

①「色いくつ」②「食物連鎖ジャンケン」③「動物カテゴリー」④「名づけ親の旅」⑤お土産クラフト（オリジナルマグネットづくり）

初めにアイスブレイクとして、ボールを受け取った人が好きな季節を言った後に名前を言い、次の人にボールを投げるという自己紹介ゲームを行いました。

①「色いくつ」は、自分が立っている位置をゆっくり一回りし、いくつ色が見つけられるかというゲー

ムをしました。同じ緑でも日蔭の緑と太陽が当たっている緑の違いに気づいてもらいました。

②「食物連鎖ジャンケン[葉っぱ→虫→鳥→木]」は、ジャンケンで勝ち進むことによって、自然界の食物連鎖を考えるきっかけづくりにしました。ジャンケンなので幼児から大人まで和気あいあいとし、笑い声が絶えませんでした。

③「動物カテゴリー」は、生き物には他の生き物との共通点がある、その共通点をグループで意見交換しながら見つけてもらいました。幼児や小学校低学年が多かったので生き物の多様性を見出すのは難しかったようでした。

④「名づけ親の旅」は、バンダナがついた草花や木をよく観察し、特徴や参加者の感性から「新しい名前」をつけてもらいました。つけられた名前には参加者の個性が表れお互いに興味深かったようです。

⑤活動後小さな板に、種や木の実、貝殻などをつけマグネットづくりをしました。

今回の参加者は、全員ネイチャーゲームの体験は初めてでしたが約2時間緑と風を感じながらゆっくり過ごされていました。



▲「食物連鎖ジャンケン」葉っぱ→虫→鳥→木  
あつ負けちゃった、葉っぱにもどっちゃう



▲「動物カテゴリー」  
生きもの同士の共通点を考えよう





▲「名づけ親の旅」  
どんな名前にしようか？

## トレイル&クリーン作戦

■参加人数：16人

＜プログラム状況＞

「呉娑々宇山トレイル&クリーン作戦」

林業体験広場体験棟前にて「ひろしま遊学の森」広島市森林公園の副島靖夫園長による開会宣言と「NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima」の見勢井氏によるひろしま「山の日」宣言を行い、1日の盛況と無事故を祈って開始しました。

小学校5年生の子供と大人12名が登山口から樹木の観察や除伐作業をしながら頂上まで登り、昼食としました。

今回の作業はコバノミツバツツジとサンヨウアオイに注意しながら主にウリハダカエデを除伐し景観改善を行いました。



▲登山道沿いの植物観察をしながら山頂へ



▲数化し景観を損ねるウリハダカエデ



▲登山道を遮る枯れ木の処理



▲登山者とともに参加の皆さんと

記録者：見勢井 誠

(NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima)



## ⑤広島市会場 広島県緑化センター

全体

■参加人数：730人

＜プログラム状況＞

新緑かおる晴天の下、多目的広場を会場に、午前10時、正本 大 実行委員長の挨拶の後、「可部南グリーンズ緑の少年団」18人による「山の日」宣言で開会した。(約730人、来園者を含む) 開会式終了後、園内2箇所で山の手入れ(参加者、計46人)を行った。

会場では「モーリースタンプラリー」、「森のネイチャーゲーム」、「森のノルディック・ウォーク」、「木工クラフト」「紙ヒコーキ飛ばし」、「丸太切り体験」計6つの従来の参加型プログラムと今回新規の「コケ玉作り教室」、「木登り体験」「クップ・モルック体験」の3プログラムも含め、皆さん、それぞれにチャレンジされていた。

記録者：行正 高成(広島県緑化センター)



▲可部南グリーンズ緑の少年団18人による「山の日」宣言

### 山の手入れ

■参加人数：15人

＜プログラム状況＞

さくらの森周辺で三井ボランティアネットワークの人々や白木愛山会など15人が、主として実生の小松不要木の除伐行いました。晴天の下、気持ち良い汗が流せたと参加者全員満足そうでした。

記録者：行正 高成(広島県緑化センター)



▲山の手入れの様子

### 森を守ろう

■参加人数：31人

＜プログラム状況＞

今年も可部南グリーンズ みどりの少年団の児童及び役員や父兄を含めて総勢31人により、開会式終了後、「サクラの森」付近に移動して周辺の山林内で除伐作業を行いました。最初に指導者(ふれあい湧会員)から作業上の注意点や手ノコの使い方等の説明の後、作業を開始しました。昨年も参加した児童もいて、みんな手際よく作業していました。

記録者：行正 高成(広島県緑化センター)



▲指導者による除伐作業の説明

## 森のネイチャーゲーム

■参加人数：30人

### ＜プログラム状況＞

多目的広場の池側の斜面の植え込みを利用して、「生き物発見ラリー」を実施。8種類の生き物をさがしました。蜘蛛や TENTUM シ・バッタ・カマキリや甲虫など本物の生き物がいて、理想的なフィールドでした。

また「コツ・コツ・コツ」と音がするので見ると「コゲラ」が木の下の方をつついていたので、参加者と一緒に見入ったことです。テントサイトではクラフト「竹のびゅんびゅんごま」作り回りにいた参加者の方や、お父さんと一緒に子どもさんが、挑戦してくれました。

記録者：住吉 和子

(広島市シェアリングネイチャーの会)



## ノルディック・ウォーク

■参加人数：14人

### ＜プログラム状況＞

最初に成り立ちとその歩き方、ポールの使い方など基本的な事項について説明がありました。その後、準備運動を済ませ、ウォーキングの基本動作を十分練習して、11時に多目的広場を出発。約1時間、園内をめぐりました。当日のとび入り参加が7名あり、とても賑やかなウォーキングになりました。

ノルディック・ウォーキングは、体力づくり、スタミナアップ、減量などにとっても効果的で、上半身をしっかり使うので、肩や首のコリの解消などにも有効とのことで年々参加者が増加しています。

記録者：行正 高成(広島県緑化センター)



## モースタンプラリー

■参加人数：55人

### ＜プログラム状況＞

スタンプ台を芝生広場(カルミア)、レストハウス前(ヤマボウシ)、ファミリー広場(セイヨウシャクナゲ)の3カ所に設置しました。3カ所にはそれぞれ満開の花が咲いていました。スタンプラリーの参加者には充分楽しんでいただいたことと思います。スタンプを押して戻れば、花苗又はお菓子が、もらえるということで、多くの親子連れが挑戦していました。

記録者：行正 高成(広島県緑化センター)

## 木工クラフトとシオリづくり

■参加人数：19人

### ＜プログラム状況＞

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で材料を選び、接着剤で取り付けたたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木工クラフトに熱心に取り組んでいました。

記録者：行正 高成(広島県緑化センター)





## 丸太切り体験

■参加人数：16人

### ＜プログラム状況＞

丸太切り用には、スギの木1本とヒノキの木1本を各々木の枕にカスガイで固定して待機しました。

低学年の参加者には指導者が最初に少しノコ目を入れてから切り始めてもらいました。子供が頑張る姿に両親も、指導者も声援を惜まず、切り終わると子供は汗を拭きながら達成感で満足そうでした。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



## 折り紙ヒコーキとばし

■参加人数：48人

### ＜プログラム状況＞

芝生広場で実施し、多くの親子連れが参加してくれました。

小学校以下のお子さんはアイスクリーム引換券が貰えて大喜び。お父さん、お母さんも童心

に帰って一生懸命飛ばしていました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



## コケ玉作り教室

■参加人数：14人

### ＜プログラム状況＞

新企画として、今回の行事にあわせて、緑化研修会を実施しました。参加者は数種類の素材の中から自分の好みに合わせて材料を選び、講師の指導を受けながら、楽しそうにコケ玉を作られました。みなさん出来栄はそれぞれですが、喜んで持帰られました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲コケ玉

## 木登り体験

■参加人数：18人

### ＜プログラム状況＞

今回、企画として会場広場のクスノキを利用し実施しました。地上約5mの太い枝に滑車を取付てロープを通し、ロープにハーネス（安全帯）をセットしました。体験参加者は小学生以下とし、ハーネスを装着し地上約4mを目指して木登りに挑戦して貰いました。指導者がロープを操作し、また、登り方のヒントを出して安心安全に体験していただきました。保護者の方は、励ましたり、写真を撮ったり、みなさん、ハラハラドキドキ楽しそうでした。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



## クップ・モルック体験

■参加人数：25人

### ＜プログラム状況＞

今回、ひろしま「山の日」県民の集いとしてははじめて、緑化センターのイベントとしても2回目の実施でした。クップ、モルックともに北欧発祥の木片を使ったスポーツで、その名前を初めて知った方も多かったと思います。参加者は、下は幼児から、上は高齢の方までと幅広い年代の方がいらっしゃいました。参加したおばあちゃんのコメントです。「こんなに面白いゲームとは知りませんでした。またやってみたいので、そのときは道具を貸してもらえますでしょうか？」もちろんOKですとお答えしました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲クップ、モルックの様子





## ⑥三原市会場 県立中央森林公園

全体

■参加人数：2,000人

＜プログラム状況＞

主催により山の日宣言がされ、今回で17回目の山の日集いが始まりました。初回からの開催会場であり実践体験できる参加型里山の手入れとし事前に参加者を募りました。

一般参加者では、青年男女のグループから小学生の親子連れと幅広い方達15名の参加があり私たちグループと併せて45名で、里山の手入れを行いました。

参加者全員で“どんぐりコロコロ”を三唱して安全祈願を行い里山の手入れ作業にかかりました。現地では、参加者全員に保安帽と腰ノコを身に付けてもらい、里山の手入れの仕方として、伐る木の見分け方と手ノコの使い方について説明し安全な作業の流れとして、木を伐る班、伐った木を運ぶ班、チップパーで砕く班の三班に分かれて作業を進めました。

午前中の作業でしたが、林内は木モレ日が差し込む清々しい里山にもどりました。私たちも心地よい汗をかき、改めて里山の手入れの大切さや楽しさを実感した一日でした。

記録者：榊宗 正則

(NPO法人森のおさるさん理事長)



▲開会式の様子



▲里山の手入れについて説明



▲里山の手入れ開始



▲伐った木をチップパーで粉碎



全体

■参加人数：45人

＜プログラム状況＞〔開催日：6月17日(日)〕

森の畑や果樹園の整備、秘密基地づくり、道具小屋の整備、食事はイノシシカレー＆柏餅+パンケーキでした。

梅雨の晴れ間！とっても良い天気で、3班に分かれ額に汗して伐木の枝を切り分けて運び秘密基地の屋根にしたり集めたり、森の畑では草むしりを行い、とげのある雑草に苦戦しましたが、みんなで綺麗にした畑の野菜は、きっとおいしく立派に育つはずです！

そして、おいしい料理を作る班、ご飯を炊き、野菜を切り、イノシシ肉を炒めてカレーづくり。また、柏餅づくりでは、餅を包む葉について話を聞き、柏の葉が取れないこの地方では、サルトリイバラで柏餅をつくることを学び、森の中を散策して葉っぱを取り、柏餅づくりに挑戦しました。森の中の日蔭は、涼しくて気持ちいい。汗もす〜っと引いていきます。この時期にしては良い作業日でした。

作業の後に、涼しい森の中で食べるご飯の味はまた格別でした。

記録者：末長 秀紀（備北公園管理センター）



▲開始の挨拶

### 森の楽校



▲秘密基地づくり





▲畑づくり



▲イノシシカレーを作ろう！



▲柏餅づくり



▲参加者全員で集合写真



## ⑧福山市会場 ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：30人

＜プログラム状況＞

第17回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月3日(日)に例年通り《ふくやまふれ愛ランド(福山市赤坂町)》にて開催をしました。当日は、晴天に恵まれ他のイベントも多数開催をしていたこともあり会場付近は大変な賑わいでした。

福山市会場での開催も12回目を迎えたこともあり、来場者も定着し山に対する意識は年々高まりを見せています。山や森の大切さの理解を得て、県民の輪を広げる目的は達成出来たものと確信しています。

開会式では、開会挨拶に続いて、「開会宣言」と「山の日宣言」を地元の若者を代表して谷本 真士様により大変力強い宣言をして頂きました。

続いて、繁田 健司運営委員長よりご挨拶を頂きました。挨拶の中で平成30年8月11日(祝日)の「山の日」についての報告と、例年11月に開催の「ふれ愛ランドまつり2018」への参加依頼もありました。同まつりは、2000人以上を集客する大規模なイベントです。

記録者：阿吹 英治(光和物産株式会社)



▲開会式の様子

## 山のグラウンドワーク

■参加人数：30人

＜プログラム状況＞

「山のグラウンドワーク」への参加者は30名余りでした。広島県東部森林組合の方で、植樹箇所目印をして頂いたこともあり非常に助かりました。植樹(エドヒガン桜)及び樹木の手入れ等を実施しました。

最後に、ひろしま「山の日」県民の集いが盛会で充実した1日で終わることが出来たことは、参加者及び運営へご協力いただいた数多くの関係者の方によるものであり大変感謝致します。

記録者：阿吹 英治(光和物産株式会社)



▲終了後の記念撮影



## ⑨三次市会場 酒屋憩いの森

全体

■参加人数：250人

### ＜プログラム状況＞

第17回ひろしま「山の日」県民の集い三次市会場は、6月3日(日)に酒屋憩いの森を会場として行いました。開会式では、市内小学校の児童2名が「山の日宣言」を元気に読み上げてくれました。参加者はまず、森の手入れをするためにノコギリを手に森林内へ入りました。森林組合職員の指導を受け、切り倒す木を自分たちで選び、自分たちで切り倒しました。ノコギリを使ったことが無い人もたくさんいましたが、自分が切った木が倒れる瞬間は、歓声を上げて喜んでいました。

「自然観察会」では、講師の坂田先生(県林業技術センター)の案内により、いこいの森の散策道を一周しながら植物の説明を興味深く聞いていました。

「木工クラフト」は、昨年大人気だったカブトムシづくりの他、今年はキーホルダーづくりも行いました。糸鋸などの道具を使いこなし、素晴らしい作品を完成させていました。

また、毎年恒例となっている、馬洗川自然塾による「木登り体験」では、木の上に設置されたツリーハウスへ特設の階段で登り、ができるほどたくさんの人でにぎわいました。今年も災害時にも使用できるエコストーブを展示し、地元のJA女性部の方が作ったカレーをみんなでおいしくいただきました。毎年みなさんが楽しみにしている「カブトムシの幼虫さがし」ですが、幼虫がほとんどいなかったため、今回はカブトムシの寝床づくりを行いました。

また、今年もサテライト会場としてほしはら山のがっこうで、「TAKE-1 グランプリ」やネイチャーゲーム等を行いました。山の日イベントを通じて、参加者の皆様には山や自然について関心を深めていただいたものと思います。

記録者：金力 篤信(三次市産業環境部農政課)

### 開会式



### 間伐体験



### 木工クラフト



## 自然観察会



## エコストープの展示



## カブトムシの寝床づくり

※幼虫がいなかったため、カブトムシの寝床をつくりました。



## ツリーハウスで木登り体験





全体

■参加人数：238人

＜プログラム状況＞

- 1 大会実行委員長挨拶  
(中国木材㈱会長 堀川保幸 氏)
- 2 「山の日宣言」  
三菱日立パワーシステム㈱ 会長 佐藤一教 氏
- 3 「山の日メッセージ」披露  
広島県議会議員 宮 政利氏
- 4 呉市役所挨拶 参事 松下 武雄 氏
- 5 「安全祈願」(三菱日立パワーシステム㈱ 遠藤勇人 氏)

昨年、一昨年に伐採した竹が、今年また生えてきたので、式典の間にサポート・トレッキング・グループの会員が竹を伐採し、チップーマシンで粉砕しました。



▲「安全祈願」の様子

## 山のグランドワーク（森林整備）

森整備にあたり、ヘルメット着用、ノコギリの貸与、軍手の着用し、鬱蒼とした国有林が、大勢の手によってすっきりした森に変身できました。気味が悪く感じた林に光が届き、風が通って気分が爽快になりました。腕の太さ以下の木を伐採し、搬出してチップーマシンで粉砕し森に還しました。



▲森の整備の様子

## ハイキング（星降る展望台）

午前11時から中国木材の社員の案内で希望者が『星降る展望台』まで氷池のそばを通過してハイキングを行いました。ウシガエルの鳴き声を聞きながら、爽やかな風を受けて散策し、参加者は半分くらいと予想していましたが、ほとんどの方が参加しました。途中、道標が枝木で隠れてしまって見えないところがあり、枝木伐採のお手伝いをしていただいた方もあり感心しました。



▲子どもたちに好評だった丸太切り

## 森のネイチャーゲーム



▲2班に分かれて、講師2名で奮闘

記録者：宮岡泰久(サポート・トレッキング・グループ)

## ⑪北広島町八幡高原会場 高原の自然館

全体

■参加人数：295人

### ＜プログラム状況＞

北広島町八幡高原では今年度より一日間の開催とし、3つのプログラムを準備しました。

開会式では、各プログラムの紹介に加え、安全上の注意、そして参加者による「ひろしま山の日県民の集い」の「山の日宣言」が高らかに響きました。爽やかな高原に咲くカキツバタを目当てに、多くの来訪者が訪れる「芸北 高原の自然館」の中では、地域の木材ホオノキで、マイスプーンを作りました。芸北せどやま再生会議のスタッフが、安全を考えヤスリで形を整えるシンプルなクラフトです。希望する参加者とともに、ホオノキの特性などおしゃべりしながらの作業となりました。

「芸北 高原の自然館」の前の広場では、コナラを始点に、ツリークライミングの準備が進みます。こちらは、日本山岳会広島支部のみなさんが、毎年子どもたちと木のふれあいを目的に実施します。ロープクライミングでは、挑戦して出来なかった子どもが成功するために、まわりで声をかけたり、盛り上げたりで、にぎやかな雰囲気の中、笑顔があふれ、自信に満ちた子どもたちの姿が印象的でした。自然の中でのびのびと過ごしてもらえた一日となり、スタッフ一同も充実感にあふれていました。来年に向けての振り返りもしっかりと行われました。

そして、霧ヶ谷湿原では、自然再生地の保全活動が行われました。こちらは、八幡湿原自然再生協議会や日本山岳会広島支部をはじめとするボランティアのみなさんのお力添えで、湿原再生のための低木伐採や除去の作業が実施されました。ノイバラの威力に苦しみながらも、湿原の乾燥化を防ぎ、導水路が確保できるよう作業が進められました。湿原は保水や洪水を防止する役割があり、動植物にとっても重要な生育・生息地です。霧ヶ谷湿原の保全作業を通じて、山と森や里、川のつながりを感じることができたと思います。

宣言にあったように、八幡高原という里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を上げ、山がよくなる運動のきっかけになった一日となりました。

記録者：河野弥生(NPO 法人西中国山地自然史研究会)



▲霧ヶ谷湿原自然再生活動後の集合写真



▲地域の木材（ホオノキ）でマイスプーン作り



▲ジュニア ツリークライミング体験の様子



森林・林業体験活動  
里山林整備体験

全体

■参加人数：37人

## ＜プログラムの状況＞

安芸高田市会場で、昨年に引き続き、鷹ノ巣山山頂での里山林整備体験を行いました。当日は、天候に恵まれ、参加者が各清掃道具を持参して登頂しました。山頂に到着して、一息ついた後、安芸北森林組合の岸本参事さんの指導により、手ノコ、鉋、草刈り機の安全な使い方を学び、チェーンソーによる伐採見学や、全員で枝払いと玉切り、草刈りを行うなど、1時間半の時間をかけて山頂を整備しました。毎年継続して整備していくことで、山頂が一段と気持ちの良い空間になりました。

記録者：藤堂 洋介（安芸高田市農林水産課）



### ▲山頂での参加者集合写真



### ▲道具の安全な使用説明



### ▲山頂整備



### ▲チェーンソーによる伐採見学

## ⑬安芸太田町会場 深入山グリーンシャワー

全体

■参加人数：500人

＜プログラムの状況＞

第17回ひろしま「山の日」県民の集い『森カフェ in あきおおた』は深入山グリーンシャワーをサテライト会場として開催しました。

当日は、天候もよく、約500名の方々にご来場いただき、森林セラピー体験や、ノルディックウォーキング体験をはじめとする、様々な森を満喫できるメニューを楽しんでいただきました。今年のクラフトコーナーでは、木工教室やカトラリーづくり、アロマづくりを実施し、多くの方々に楽しんでいただきました。今年、筒賀小学校緑の少年団による山の日宣言や自然・環境を守るための啓発看板の設置を行いました。

記録者：佐々木 秀徳（安芸太田町産業振興課）

### 開会式



▲開会式 佐々木 徹実行委員長 挨拶

### 山の日宣言



▲筒賀小学校緑の少年団

### 森林セラピー体験



### 森林ヨガ



### 木工体験・クラフト教室



### しいたけ菌打ち体験



▲森のコンサート（広島アルプホルンクラブ）



## ⑭大竹市会場 マロンの里交流館

全体

■参加人数：1,500人

＜プログラムの状況＞

ステージプログラム

○開会式

みどりの少年団（栗谷小学校児童）による元気いっぱいな開会宣言やご来賓あいさつなど



○山の日ライブ

市内のコーラスグループから参加者を募り大竹市民吹奏楽倶楽部の伴奏で山の日コーラスを行いました。お客さんに歌詞カードを配り、コーラスに参加してもらいました。続いて、大竹市民吹奏楽倶楽部による単独演奏が行われ、楽器の調が心地よく栗谷に響き会場内を沸かせました。



大竹を中心に活動しているバンドメンバーによる生ライブ。賑やかな音楽に美しい歌声が合わさり、会場が大いに盛り上がりました。



○山トーク

メインイベントである山トークを行なった。今回は大竹市で盛んに行われている6次産業化をテーマに、小城実行委員長、島原委員、北林くば漁協組合長らによるクロストークが行われました。山と海、自然の大切さを知る良い機会になったと大好評でした。



▲山トークの様子

## 記念にどうぞ！植栽体験

■参加人数：50名

■担当グループ：三倉岳県立自然公園協議会  
産業振興課

### ＜プログラムの状況＞

平成 29 年度に結婚または出産をした方を対象に、三倉岳休憩所付近に植栽を行いました。



## 山の中のヨガ教室

■参加人数：8名

■担当グループ：ヨガ教室チャンドラ

### ＜プログラムの状況＞

マロンの里交流館内でヨガ教室を行ないました。自然豊かな場所で行う ヨガ に参加者は、ゆったりとした時間を過ごしていました。

## 初心者の為の三倉岳登山

■参加人数：48名

■担当グループ：大竹山の会

### ＜プログラムの状況＞

三倉岳に集合し、準備体操を行い一般コースと健脚コースに分かれて登山を行いました。山に詳しい方のガイド付きとあって参加者からは大好評でした。



## 木製マガジンラック作成体験

■参加人数：50名

■担当グループ：小城材木店・産業振興課

### ＜プログラムの状況＞

釘やのりを使わないマガジンラックのキットを用意し、作成してもらいました。木製品の良さを知ってもらえる良い機会となりました。



## 木工クラフト作成体験

■参加人数：50名

■担当グループ：産業振興課

### ＜プログラムの状況＞

木工クラフト体験を行いました。木の枝などを使って自分だけの動物模型等を作成してもらいました。



## 手すき和紙体験

■参加人数：70名

■担当グループ：大竹和紙保存会  
大竹青年会議所

### ＜プログラムの状況＞



大竹市の伝統工芸である手すき和紙の作成を体験してもらいました。大竹市の伝統工芸を知ってもらう良い機会となりました。



## あそんでみよう！ 木のおもちゃ体験コーナー

■参加人数：150名

■担当グループ：産業振興課

＜プログラムの状況＞

今年から始めたプログラム。今では少なくなった木製のおもちゃに触れてもらい、木製品の良さを改めて認識してもらいました。



## 竹で作ろう！水てっぽう

■参加人数：120名

■担当グループ：産業振興課

＜プログラムの状況＞

昔ながらの竹水てっぽうのキットを用意し、作成してもらいました。作った水鉄砲で的当てゲームを行いました。



## ツリークライミング体験

■参加人数：120名

■担当グループ：佐伯森林組合

＜プログラムの状況＞

昨年度好評だったので今年は更に体験人数を増やしました。普段とは違った目線で木や森を見ることができ、子供たちは大喜びでした。



## しいたけ菌打ち体験

■参加人数：50名

■担当グループ：西日本造園・二階堂商事

＜プログラムの状況＞

しいたけの菌打ちを体験してもらいました。同時に大竹産のしいたけの試食コーナーも設け、大竹産のしいたけの美味しさを知ってもらう良い機会となりました。



記録者：菊本 紘生（大竹市総務部産業振興課）

## ⑮世羅町会場 せら夢公園

全体

■参加人数：500人

### ＜プログラムの状況＞

第17回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場をせら夢公園で開催しました。開会式では、曾我春雄実行委員長による開会挨拶、奥田正和町長による来賓祝辞があり、世羅町実行委員会事務局員の向田あんなによる山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は快晴となり、親子連れを中心に約500人の方々にご来場いただき、約200人が体験活動に参加しました。会場では、「山の日記念植樹体験」「木製マガジンラックづくり体験」「しいたけ菌打ち体験」「薪づくり体験」「せら高原の自然を楽しもう！」の5つの森林・林業体験プログラムを行いました。体験参加者からは「普段できないような体験ができ、とても楽しかった。」という感想もあり、子どもから大人まで幅広い世代の方々に山に親しんでいただくことができました。しかし、昨年度よりも全体の参加者数、体験者数が減少したため、今後は事前のイベント周知にも力を入れていきたいです。



▲開会挨拶 曾我春雄実行委員長



▲祝辞 奥田正和町長



▲山の日宣言 世羅町実行委員向田あんなさん



▲世羅町会場の様子

## 山の日記念植樹体験

■参加人数：21名

### ＜プログラムの状況＞

せら夢公園内のせらワイナリー裏山周辺で、記念植樹体験を行いました。親子一緒になってモミジやアジサイの苗木を植樹しました。植樹後水やりをし参加者からは「大きく育った姿を早く見た。」という感想もありました。



▲植樹体験の様子



## 木製マガジンラックづくり体験

■参加人数：15名

### ＜プログラムの状況＞

広島県産のスギを使ったマガジンラックづくり体験を行いました。親子連れの参加者が多く、マガジンラック完成後は、好きなイラストを描くなどして、とても満足していただきました。また、木製品の良さをみなさんに知っていただくよい機会となりました。



## しいたけ菌打ち体験

■参加人数：18名

### ＜プログラムの状況＞

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。菌打ちをしながら「美味しいしいたけができるといいね。」と楽しみながら体験をしていただくことができました。



## 薪づくり体験

■参加人数：35名

### ＜プログラムの状況＞

薪割り体験は斧を使って行いました。子どもから大人まで幅広い年齢層の方が参加しました。参加者は、薪を割るごとに、「もう一本してみたい！」などと、とても楽しそうに体験をしていました。



## せら高原の自然を楽しもう！

■参加人数：70名

### ＜プログラムの状況＞

せら夢公園自然観察園で世羅高原の動植物の観察会を行いました。水田のチョウ「ヒョウモンモドキ」、世界最小級のトンボ「ハッチョウトンボ」、湿原を朱鷺色に彩る「トキソウ」などを観察しました。プログラムを第1部・第2部と分けて行いましたが、どちらとも予定していた定員数より、多くの方に参加していただきました。カメラを片手に多くの参加者にせら高原の自然に親しんでいただくことができました。

記録者：向田 あんな（世羅町産業振興課）

## ⑩大崎上島会場 神峰山

全体

■参加人数：55人

### ＜プログラムの状況＞

ひろしま「山の日」県民の集い大崎上島会場は、大崎上島町観光協会主催の神峰山ウォークを実施し、55名の方にご参加頂きました。10時から大崎上島文化センターの神峰ホールにて受付を開始し、ラジオ体操の後、藤原農園へ行きイチゴ摘みを行いました。その後神峰山の麓の大峰苑から神峰山ウォークをスタートしました。途中8か所のポイントでスタンプを集めながら、山頂へ最初の登山者が辿り着いたのが1時間後となりました。天候にも恵まれ、各展望台からは素晴らしい眺めを見ることが出来ました。スタンプラリーの記念品として島のお土産を渡し、記念撮影や紙芝居「巖島伝説」の上映をしました。その後清風館へ移動し、露天風呂で汗を流した後、解散となりました。

記録者：太田 智之（大崎上島町観光協会）



▲瀬戸内海を望みながら登山中



▲展望台にて瀬戸内海を一望



▲藤原農園でのイチゴ摘み



▲紙芝居『巖島伝説』



### 3. 実行委員

#### 実行委員会（全体）

##### ■アドバイザー

城納 一昭 元・広島県副知事 マツダ㈱取締役  
中越 信和 広島大学 名誉教授  
山崎 裕美 広島県農林水産局 森林保全課 課長  
奥迫 輝昭 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長  
岡谷 義則 中国新聞社 代表取締役社長  
畑矢 健治 (株)中国放送 代表取締役社長

##### ■会長

伊藤 利彦 愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事 元・広島市収入役

##### ■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役社長  
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長  
瀬川 千代子 エコロジー研究会 事務局長  
前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長  
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟会長  
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、  
エコパークの森づくり副実行委員長  
㈱純正食品マルシマ 代表取締役社長  
佐谷 正樹 株式会社有斐園 取締役会長  
福島 偉人 中国木材株式会社 代表取締役会長  
堀川 保幸 NPO 法人森のバイオマス研究会 監事  
八谷 文策

##### ■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長  
秋山 浩三 広島県シェリングネイチャー協会 事務局長  
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 事務局長  
奥野 悟 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長  
小川 俊章 中国木材株式会社 総務課長  
小田 里子 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟  
普及部 部長  
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長  
近藤 紘史 NPO法人西中国山地自然史研究会 代表  
河野 弥生 NPO法人西中国山地自然史研究会  
柴田 壮太郎 エコロジー研究会ひろしま  
仙田 信吾 (株)RCC フロンティア 代表取締役社長  
谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長  
寺内 優 株式会社中国放送 アナウンス部長  
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長  
林 高正 板橋さとやま倶楽部 理事長  
藤原 道伸 大崎上島町 建設課 課長  
福永 やす子 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟  
行正 直樹 三次市産業部農政課 課長  
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長  
渡部 英美 (株)中国新聞企画サービス 課長  
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会  
野島 信隆 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟  
副会長  
(公社)日本山岳会広島支部 副支部長

##### ■監事

梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

##### ■事務局(委員兼任:事務局長)

山本 祐二 NPO 法人ひろしま NPO センター 常務理事

#### 各会場実行委員会

##### □江田島市会場実行委員会

■実行委員長 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長  
■副委員長 越智 剛 古鷹フレンドシップクラブ 理事長  
■事務局長 泊野 秀三 江田島市産業部農林水産課 課長

##### □東広島市会場実行委員会

■実行委員長 島 靖英 西条酒造協会 理事(白牡丹酒造)  
■副委員長 浅野 敏久 広島大学大学院総合科学研究科 教授  
■運営委員長 松浦 尚樹 賀茂地方森林組合 憩いの森公園施設長  
■事務局長 薦田 直樹 (一社)サステナブル地域づくりセンター・  
HIROSHIMA 代表理事  
西条・山と水の環境機構 事務局長

##### □廿日市市会場実行委員会

■実行委員長 谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長  
■副委員長 井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長  
■事務局長 梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

##### □広島市(広島市森林公園)会場実行委員会

■実行委員長 副島 靖夫 広島市森林公園 園長  
■副委員長 下 博文 広島市森林公園 副園長  
■運営委員長 桑原 清二 フォレストクラブ森守  
■事務局長 桑田 莊一郎 広島市森林公園

##### □広島市(広島県緑化センター)会場実行委員会

■実行委員長 正本 大 広島県緑化センター 管理責任者  
■副委員長・事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター 所長  
■運営委員長 行正 高成 広島県緑化センター

##### □三原市会場実行委員会

■実行委員長 福島 偉人 株式会社有斐園 取締役会長  
■副委員長 吉川 進 三原市経済部 部長  
■運営委員長 榊宗 正則 (特非)森のお猿さん 理事長  
■運営副委員長 沼田 信子 三原市シルバー人材センター本郷支所長  
■事務局長 行森 章 (一財)中央森林公園協会 常務理事  
兼事務局長

□庄原市会場実行委員会

■事務局

末長 秀紀 備北公園管理センター企画広報課

□福山市会場実行委員会

■実行委員長

内海 康仁 光和物産(株) 取締役社長

■副委員長

赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長

■運営委員長

繁田 健司 光和物産株式会社

■事務局長

赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長

□三次市会場実行委員会

■実行委員長

箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会 会長

■事務局長

行正 直樹 三次市産業環境部農政課 課長

□呉市会場実行委員会

■実行委員長

堀川 保幸 中国木材(株) 代表取締役会長

■副委員長

佐藤 一教 三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ\*

■運営委員長

宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長

■副運営委員長

遠藤 勇人 三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ\*

■事務局長

小川 俊章 中国木材株式会社 人事・総務部  
人事課長

□北広島町八幡高原会場実行委員会

■実行委員長

近藤 紘史 (特非)西中国山地自然史研究会 理事長

■事務局長

河野 弥生 (特非)西中国山地自然史研究会

□安芸高田市会場実行委員会

■実行委員長

望月 純孝 安芸高田市産業振興部農林水産課

■事務局

藤堂 洋介 安芸高田市産業振興部農林水産課

□安芸太田町会場実行委員会

■実行委員長

佐々木 徹 太田川森林組合 代表理事組合長

■副委員長

大倉 啓司 安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会  
情報宣伝部 会長

■事務局長

瀬川 善博 安芸太田町産業振興課 課長

□大竹市会場実行委員会

■実行委員長

小城 林勲 小城材木店 会長

■副委員長

田中 弘明 栗谷自治会連合会 会長

■事務局

廣兼 聖也 大竹市産業部 産業振興課 課長

□世羅町会場実行委員会

■事務局長

升行 真路 世羅町 産業振興課 課長

□大崎上島町会場実行委員会

■実行委員長

河野 亮三 大崎上島町の森づくり事業推進協議会  
会長

■事務局長

藤原 通伸 大崎上島町 建設課 課長

※以上、2018年6月3日時点での委員及び所属等を記載しております。

たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。心より感謝申し上げます。









## 4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

### 1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（時期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくろうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

### 2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、現在あわせて1万人が参加する行事になっています。

| 回数 | 日時                                  | 場所                                              | 参加者<br>(人) | 主催                                    |
|----|-------------------------------------|-------------------------------------------------|------------|---------------------------------------|
| 1  | 2002年6月1日(土)<br>・2日(日)              | 東広島市                                            | 1,500      | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会                   |
| 2  | 2003年6月7日(土)<br>・8日(日)              | 廿日市市                                            | 3,000      | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会                   |
| 3  | 2004年6月5日(土)<br>・6日(日)              | 広島市                                             | 2,400      | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会                   |
| 4  | 2005年10月15日(土)<br>・16日(日)           | 三原市                                             | 5,000      | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、平成17年度広島県植樹祭実行委員会 |
| 5  | 2006年10月22日<br>(日)<br><br>※全国育樹祭と連携 | ○メイン会場：庄原市<br>○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市     | 11,700     | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社             |
| 6  | 2007年10月20日(土)<br>・21日(日)           | ○メイン会場：福山市<br>○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、庄原市 | 10,110     | ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社             |

|    |                                                       |                                                                                          |                    |                                        |
|----|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------|
| 7  | 2008 年 10 月 18 日 (土)<br>・ 19 日 (日)                    | ○メイン会場：三次市<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市、三原市、<br>庄原市、福山市                                 | 10,000             | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社      |
| 8  | 2009 年 6 月 6 日 (土)<br>・ 7 日 (日)                       | ○メイン会場：呉市<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市 (2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市                          | 7,000              | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 9  | 2010 年 6 月 5 日 (土)<br>・ 6 日 (日)                       | ○メイン会場：北広島町<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市 (2)、<br>三原市、庄原市、福山市、<br>三次市、呉市                 | 8,600              | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 10 | 2011 年 6 月 4 日 (土)<br>・ 5 日 (日)<br><b>※第 10 回記念行事</b> | 広島市 (記念講演会)<br>東広島市、廿日市市、広島市 (2)、<br>三原市、庄原市、福山市、<br>三次市、呉市、北広島町                         | 11,600             | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 11 | 2012 年 6 月 2 日 (土)<br>・ 3 日 (日)                       | ○メイン会場：尾道市<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市 (2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市、呉市、<br>北広島町             | 7,000<br><br>※朝、雨  | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 12 | 2013 年 6 月 1 日 (土)<br>・ 2 日 (日)                       | ○メイン会場：安芸高田市<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市 (2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市、呉市、<br>北広島町、尾道市       | 3,200<br><br>※終日雨天 | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 13 | 2014 年 5 月 31 日 (土)<br>・ 6 月 1 日 (日)                  | ○メイン会場：安芸太田町<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市 (2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市、呉市、<br>北広島町、尾道市、安芸高田市 | 9,000              | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |



|    |                          |                                                                                                            |        |                                        |
|----|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------|
| 14 | 2015年6月6日(土)<br>・6月7日(日) | ○メイン会場：大竹市<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市(2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市(2)、<br>呉市、北広島町、尾道市、<br>安芸高田市、安芸太田町         | 10,540 | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 15 | 2016年6月4日(土)<br>・6月5日(日) | ○メイン会場：世羅町<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市(2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市、呉市、<br>北広島町、尾道市、安芸高田市、<br>安芸太田町、大竹市        | 7,123  | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 16 | 2017年6月3日(土)<br>・6月4日(日) | ○メイン会場：大崎上島町<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市(2)、三原市、<br>福山市、三次市、呉市、北広島町、<br>尾道市、安芸高田市、安芸太田町、<br>大竹市、世羅町      | 10,862 | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |
| 17 | 2018年6月3日(日)             | ○メイン会場：江田島市<br>○サテライト会場：東広島市、<br>廿日市市、広島市(2)、三原市、<br>庄原市、福山市、三次市、呉市、<br>北広島町、安芸高田市、安芸太田<br>町、大竹市、世羅町、大崎上島町 | 11,718 | ひろしま「山の日」県民<br>の集い実行委員会、<br>中国新聞社、中国放送 |

※但し、参加者は10人台で計数しています。

---

第 17 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2018 年 9 月 1 日
  - 発行・編集 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
  - 監修 中越 信和（広島大学 名誉教授）
  - 事務局 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3－1  
TEL:082-511-3180 FAX:082-511-3179  
e-mail:info@yamanohi.com
-





- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。  
基本カラーはエコグリーン。  
デザインは木原実行さん。

## セブン-イレブン記念財団

(この活動は、2018 年度セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。)



[文書の重要な部分を引用して読者の注意を引いたり、このスペースを使って注目ポイントを強調したりしましょう。このテキスト ボックスは、ドラッグしてページ上の好きな場所に配置できます。]

ひろしまの「」を活用します。  
キャラクター モーリー

